

一般社団法人ケアの方舟 訪問カレッジ「Be Prau」 (所在地：埼玉県さいたま市)

事業名 さいたま地区の超重症児者を取りこぼさない「生涯にわたる学び支援」の構築

事業の趣旨・目的

2024年4月 カレッジ開校

超重症児は多くの医療デバイス・医療的ケアを必要とし、主に特別支援学校の訪問教育を受けている。卒後も「通う」ことが難しいことから利用可能な日中活動サービスや学び支援は空白となってしまう。しかし、ケアの多い彼らの生活の中で「本人主体の学び」は「生きがい」となる。そこで「心身がそのままの状態でも尊重(障害者権利条約17条)」される「訪問型」により、彼らの「生涯にわたる学び」を保障するさいたま地区初の超重症児者対象の生涯学習支援事業として専門性と市民性の両面から支え、地域の中にゆるやかであたたかなつながりを形成し、双方向でエンパワメントし合える関係を広げていく。

事業実施体制・連携先

目白大学地域連携事業・十文字学園女子大学
東京女子医科大学・NPO法人フュージョンコムかながわ訪問カレッジEnjoyかながわ

埼玉県生涯学習推進課・さいたま市特別支援教育室
さいたま市障害福祉課・さいたま市自立支援協議会
岩槻区障害者生活支援センターささほし

主な対象

「超重症児者」に分類される医療的ケアの必要な
重度の知的障害と重度の身体障害を併せ持つ重症心身障害児者

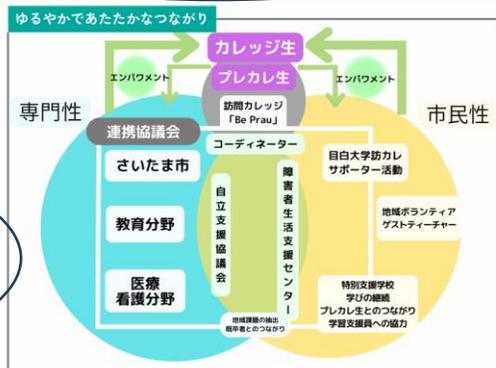
事業の取組内容

- *「外出困難×意思疎通の難しさ」という課題を抱えるさいたま地区で暮らす超重症児者に必要な学び支援の必要性和理的配慮への理解周知
- *超重症児者にとっての「社会を生きる人としての学び」実現のための、「ご本人の主体」の学習プログラム
- *「Be Prauリベラルアーツ」の開発と実施
- *目白大学地域連携事業「訪問カレッジサポーター」との協働
多様な者との交流や異なる「主体」との関わり・学び合い

「BePrau」リベラルアーツのポイント

- ①丁寧な意思決定支援・コミュニケーション支援
- ②機会と選択肢の保障
- ③多様な人たちとの関わり合い

- 地域に「ゆるやかであたたかなつながり」を形成
- ☆「既存の社会教育の枠・資源の拡大」では生涯学習にたどりつけないひとたちがいます！
 - ☆制度やサービスをスキームによる支援ではなく「どなたにも保障」が生涯学習です！
 - ☆〇〇さんのためにどうするかという視点から
 - ☆少数ニーズのすいあげ



Be Prauリベラルアーツ

カレッジの取り組み

1. 動機づけ/ご本人主体
2. 丁寧な意思決定支援
3. "生涯にわたる"学び支援
4. "生涯にわたる"生き方支援
5. "社会を生きる人"としての学び

ご本人のカレッジでの目標設定

1. 「好き」興味関心、深めたいこと
2. コミュニケーション/信頼関係形成
3. その時々で変化する興味から学ぶ
4. 学びから探る自分の"生き方"
5. "自立した生き方"を探る

指導方針

1. ご本人主体の学びマップ作成
2. カレッジ生活で自己効力感UP
3. ライフステージに合わせた内容
4. ご本人主体の生き方を引き出す
5. 「生きる」力を育む



活動の様子 活動の様子が分かる写真などを添付すること。



その他



SNS
メール



目白大学
「訪問カレッジサポーター」
紹介動画



「Be Prau」リベラルアーツ
実践報告動画